



平成24年11月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年4月2日

上場会社名 キューピー株式会社

上場取引所 東

コード番号 2809 URL <http://www.kewpie.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三宅 峰三郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営推進本部長

(氏名) 井上 伸雄

TEL 03-3486-3331

四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第1四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第1四半期	119,931	3.7	4,968	19.9	5,224	17.7	3,378	52.9
23年11月期第1四半期	115,689	4.5	4,143	5.7	4,438	0.8	2,210	6.8

(注) 包括利益 24年11月期第1四半期 4,802百万円 (85.7%) 23年11月期第1四半期 2,586百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第1四半期	22.56	—
23年11月期第1四半期	14.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年11月期第1四半期	285,267	188,511	57.1
23年11月期	275,790	185,293	58.0

(参考) 自己資本 24年11月期第1四半期 162,837百万円 23年11月期 160,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	9.00	—	9.00	18.00
24年11月期	—				
24年11月期(予想)		9.50	—	9.50	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	246,000	3.1	10,800	14.3	10,800	6.8	5,900	49.0	39.41
通期	500,000	2.8	23,500	12.9	23,600	7.7	12,000	27.0	80.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
以外の会計方針の変更：無
会計上の見積りの変更：無
修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年11月期1Q	153,000,000 株	23年11月期	153,000,000 株
期末自己株式数	24年11月期1Q	3,274,289 株	23年11月期	3,274,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年11月期1Q	149,725,870 株	23年11月期1Q	151,694,752 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2．サマリー情報（その他）に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
（4）追加情報	4
3．四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
（4）継続企業の前提に関する注記	10
（5）セグメント情報	10
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4．補足情報	11
（1）売上高のまとめ	11
（2）営業利益のまとめ	12
（3）12.11期第1四半期の営業利益増減状況.....	13
（4）主要な販売費・一般管理費実績	14
（5）営業外・特別損益の実績と計画、および11.11期第1四半期対比での主な増減内容.....	14
（6）貸借対照表の主な増減内容	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響が残る中、長引く円高や欧州経済への懸念などから厳しい状況で推移いたしました。一方、自動車をはじめとした製造業における生産量は緩やかに回復し、個人消費にも回復の兆しが見えてまいりました。

食品業界においては、震災以降、家庭での食事の機会が増え、内食や中食の需要が拡大いたしました。また、新興国における穀物などの需要増加の影響や原油価格の上昇などにより、原資材コストの上昇が続いております。

食品物流業界においては、お取引先様が物流体制の見直しを進める中、物流業者間の価格競争による受託料金の伸び悩み、燃料調達単価の上昇など厳しい環境で推移いたしました。

当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用関連会社）の状況

平成22年度からの3年間を対象とする中期経営計画における、「人材育成の充実と、グループ品質の向上」を土台とした「事業基盤の強化」と「新たな展開への挑戦」の3つの基本方針、またこれらを強力に推進するドリルの役割として位置づけた「フードサービス戦略の本格的展開」にグループが連携して取り組むことで、企業価値の一層の向上に努めました。

・売上高

サラダ調味料やサラダ・惣菜事業の牽引などにより、1,199億31百万円と前年同期に比べ42億42百万円（3.7%）の増収となりました。

・利益面

原資材コストの上昇による逆風の中、タマゴ事業やサラダ・惣菜事業などが伸張し、営業利益は49億68百万円と前年同期に比べ8億25百万円（19.9%）、経常利益が52億24百万円と前年同期に比べ7億86百万円（17.7%）、四半期純利益は33億78百万円と前年同期に比べ11億68百万円（52.9%）の増益となりました。

セグメント別の状況

[売上高の内訳]

（単位 百万円）

	前第1四半期	当第1四半期	増減（金額）	増減（比率）
調味料・加工食品	41,220	42,973	1,753	4.3%
健康機能	4,249	3,966	283	6.7%
タマゴ	21,015	21,090	75	0.4%
サラダ・惣菜	19,417	22,405	2,988	15.4%
共通	1,424	1,435	11	0.8%
物流システム	28,362	28,059	303	1.1%
合 計	115,689	119,931	4,242	3.7%

[営業利益の内訳]

（単位 百万円）

	前第1四半期	当第1四半期	増減（金額）	増減（比率）
調味料・加工食品	3,366	3,098	268	8.0%
健康機能	245	120	125	51.0%
タマゴ	678	1,518	840	123.9%
サラダ・惣菜	215	518	303	140.9%
共通	329	260	69	21.0%
物流システム	435	642	207	47.6%
調整額	1,128	1,191	63	-
合 計	4,143	4,968	825	19.9%

調味料・加工食品

- ・健康訴求タイプのマヨネーズやドレッシング、東アジアでの展開が拡大し増収
- ・原資材コスト上昇により減益となったが、売上の拡大やコストダウンが寄与

健康機能

- ・医薬業界の在庫調整の影響などで減収となったが、高齢者食や育児食は伸張
- ・医薬用ヒアルロン酸の売上高の減少により減益

タマゴ

- ・前年上昇した鶏卵相場は平年並みとなり売上高に影響したが、コンビニエンスストア向け商品の好調により増収
- ・中食向け高付加価値商品の売上高の増加や、鶏卵相場の安定により増益

サラダ・惣菜

- ・需要変化に対応した販促活動の強化などにより惣菜や米飯が大きく伸張、パッケージサラダも拡大
- ・売上高の増加や、これまでの事業基盤強化の効果により増益

共通

- ・外部向け原料販売の縮小などにより減益

物流システム

- ・お客様の物流体制の見直しなどにより、既存取引が減少し減収
- ・既存取引の減少や燃料単価の上昇など厳しい状況の中、コスト改善が進み増益

（2）連結財政状態に関する定性的情報

総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、2,852億67百万円と前連結会計年度末に比べ94億77百万円増加
主に「現金及び預金」の増加、「受取手形及び売掛金」の減少、「建設仮勘定」の増加による
- ・負債は、967億56百万円と前連結会計年度末に比べ62億59百万円増加
主に「短期借入金」、「引当金」の増加、「その他」（未払費用）の減少、「社債」の増加による
- ・純資産は、1,885億11百万円と前連結会計年度末に比べ32億18百万円増加
主に「利益剰余金」、「その他有価証券評価差額金」の増加による

キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、358億56百万円と前連結会計年度末に比べ113億47百万円増加

各キャッシュ・フローの状況

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費に加え、引当金の増加、売上債権、その他（未払費用）の減少、法人税等の支払などにより43億26百万円の収入（前年同期は4億20百万円の支出）
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出、投資有価証券の償還による収入などにより23億28百万円の支出（前年同期は36億28百万円の支出）
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入、配当金の支払などにより93億18百万円の収入（前年同期は119億78百万円の支出）

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しについては、国内外の景気の下振れ懸念など、当社グループにとって予断の許さない環境が続くものと思われます。

当社グループは、平成22年度からの3年間を対象とする中期経営計画の最終年度にあたり、収益基盤の多様化を進めてまいります。「事業基盤の強化」においては、サラダ調味料の着実なシェアの拡大と付加価値の向上、ヒアルロン酸では生産能力の増強と高機能商品の市場浸透および輸出の拡大、タマゴ商品における提案力の強化と鶏卵相場の変動に強い体質づくり、サラダやパッケージサラダの商品力と提案力の強化などを一層推し進めてまいります。また「新たな展開への挑戦」では、国内においては、新・ソースワールドの打ち出しなどによるグループ全体での提案により市場の深耕を図るほか、海外では、中国・タイのフードサービス市場の攻略やマレーシア・ベトナムでの展開を加速し、東アジアでの取り組みにおいて点から面への拡大を推進してまいります。

本年1月12日に公表しました平成24年11月期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。
- （4）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

法人税の税率の変更による影響

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）および「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以降に開始する連結会計年度から法人税率が変更されることとなりました。これに伴い、繰延税金資産および繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の40.70%から35.64%に段階的に変更されます。

これにより、繰延税金資産（流動資産）の純額が16百万円、繰延税金負債（固定負債）の純額が817百万円減少し、法人税等調整額（貸方）は672百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,553	30,856
受取手形及び売掛金	64,875	61,471
有価証券	5,000	5,000
商品及び製品	10,936	11,402
仕掛品	650	726
原材料及び貯蔵品	5,291	5,483
その他	5,062	5,786
貸倒引当金	260	157
流動資産合計	111,110	120,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	126,175	126,302
減価償却累計額	79,048	79,814
建物及び構築物（純額）	47,127	46,488
機械装置及び運搬具	125,481	125,606
減価償却累計額	103,196	103,445
機械装置及び運搬具（純額）	22,284	22,161
土地	40,759	40,760
建設仮勘定	2,146	3,021
その他	12,017	12,604
減価償却累計額	8,263	8,516
その他（純額）	3,754	4,088
有形固定資産合計	116,072	116,519
無形固定資産	2,301	2,207
投資その他の資産		
投資有価証券	19,796	19,773
前払年金費用	16,745	16,406
その他	10,507	10,532
貸倒引当金	742	742
投資その他の資産合計	46,306	45,970
固定資産合計	164,680	164,697
資産合計	275,790	285,267

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,259	39,110
短期借入金	7,237	8,541
未払法人税等	3,192	3,143
引当金	2,181	4,846
その他	24,149	17,160
流動負債合計	76,019	72,802
固定負債		
社債	500	10,500
長期借入金	663	517
引当金	2,421	2,429
資産除去債務	315	317
その他	10,576	10,189
固定負債合計	14,477	23,954
負債合計	90,497	96,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	29,434	29,434
利益剰余金	113,622	115,653
自己株式	3,386	3,386
株主資本合計	163,774	165,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,210	1,921
繰延ヘッジ損益	2	6
為替換算調整勘定	4,973	4,895
その他の包括利益累計額合計	3,766	2,967
少数株主持分	25,284	25,673
純資産合計	185,293	188,511
負債純資産合計	275,790	285,267

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)
売上高	115,689	119,931
売上原価	88,301	90,768
売上総利益	27,388	29,162
販売費及び一般管理費	23,245	24,194
営業利益	4,143	4,968
営業外収益		
受取利息	47	43
受取配当金	107	103
持分法による投資利益	68	45
デリバティブ評価益	105	91
その他	74	101
営業外収益合計	404	385
営業外費用		
支払利息	50	38
社債発行費	-	52
その他	58	37
営業外費用合計	108	128
経常利益	4,438	5,224
特別利益		
受取保険金	-	324
受取補償金	-	146
抱合せ株式消滅差益	74	-
その他	41	61
特別利益合計	115	531
特別損失		
固定資産除却損	204	141
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	214	-
その他	6	0
特別損失合計	425	142
税金等調整前四半期純利益	4,128	5,614
法人税等	1,737	1,661
少数株主損益調整前四半期純利益	2,391	3,952
少数株主利益	180	574
四半期純利益	2,210	3,378

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,391	3,952
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	434	741
繰延ヘッジ損益	13	9
為替換算調整勘定	252	97
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	195	849
四半期包括利益	2,586	4,802
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,426	4,177
少数株主に係る四半期包括利益	160	625

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,128	5,614
減価償却費	3,100	3,201
持分法による投資損益（は益）	68	45
引当金の増減額（は減少）	2,381	2,564
前払年金費用の増減額（は増加）	246	338
受取利息及び受取配当金	155	147
支払利息	50	38
固定資産除売却損益（は益）	191	127
売上債権の増減額（は増加）	5,632	3,435
たな卸資産の増減額（は増加）	1,449	713
仕入債務の増減額（は減少）	1,433	178
その他	7,367	6,948
小計	5,256	7,287
利息及び配当金の受取額	174	181
利息の支払額	111	33
法人税等の支払額	5,739	3,109
営業活動によるキャッシュ・フロー	420	4,326
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	3,531	3,180
無形固定資産の取得による支出	85	50
投資有価証券の取得による支出	43	109
投資有価証券の償還による収入	-	1,000
貸付けによる支出	64	15
貸付金の回収による収入	42	193
その他	54	165
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,628	2,328
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	344	778
長期借入れによる収入	-	500
長期借入金の返済による支出	10,457	122
社債の発行による収入	-	9,947
配当金の支払額	1,517	1,347
少数株主への配当金の支払額	214	236
自己株式の取得による支出	1	0
その他	132	200
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,978	9,318
現金及び現金同等物に係る換算差額	126	30
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	16,153	11,347
現金及び現金同等物の期首残高	33,121	24,509
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	7	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,976	35,856

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報
前第1四半期連結累計期間（自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	調味料・ 加工食品	健康機能	タマゴ	サラダ・ 惣菜	共通	物流 システム	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高									
外部顧客への 売上高	41,220	4,249	21,015	19,417	1,424	28,362	115,689	-	115,689
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,080	138	1,071	117	3,489	5,459	11,358	(11,358)	-
計	42,301	4,387	22,087	19,534	4,914	33,822	127,048	(11,358)	115,689
セグメント利益	3,366	245	678	215	329	435	5,271	(1,128)	4,143

(注)1．セグメント利益の調整額 1,128百万円には、主として、当社の管理部門および連結子会社であるケイ・システム㈱と㈱キュービーあいに係わる費用等である配賦不能営業費用1,150百万円が含まれております。

2．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	調味料・ 加工食品	健康機能	タマゴ	サラダ・ 惣菜	共通	物流 システム	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高									
外部顧客への 売上高	42,973	3,966	21,090	22,405	1,435	28,059	119,931	-	119,931
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,010	107	1,235	156	2,260	5,665	10,435	(10,435)	-
計	43,984	4,074	22,325	22,562	3,696	33,724	130,367	(10,435)	119,931
セグメント利益	3,098	120	1,518	518	260	642	6,159	(1,191)	4,968

(注)1．セグメント利益の調整額 1,191百万円には、主として、当社の管理部門および連結子会社であるケイ・システム㈱と㈱キュービーあいに係わる費用等である配賦不能営業費用1,213百万円が含まれております。

2．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しており、端数が発生する場合があります。

2. 本資料中の計画数値は本日現在における入手可能な情報および業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際には様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

(1) 売上高のまとめ

(億円)

売上高	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
10.11期	調味料・加工食品	397	457	854	431	1,285	432	1,717
	健康機能	39	44	83	46	129	49	178
	タマゴ	195	209	404	209	613	218	831
	サラダ・惣菜	184	194	378	205	583	198	781
	共通	20	17	37	16	53	14	67
	物流システム	272	282	554	291	845	292	1,137
	合 計	1,107	1,202	2,309	1,199	3,508	1,202	4,710
11.11期	調味料・加工食品	412	445	857	445	1,302	433	1,735
	健康機能	42	50	92	43	135	50	185
	タマゴ	210	221	431	210	641	216	857
	サラダ・惣菜	194	208	402	232	634	224	858
	共通	14	15	29	14	43	15	58
	物流システム	284	292	576	300	876	295	1,171
	合 計	1,157	1,230	2,387	1,245	3,632	1,232	4,864

12.11期	調味料・加工食品	430						1,856
	健康機能	40						210
	タマゴ	211						864
	サラダ・惣菜	224						881
	共通	14						53
	物流システム	281						1,136
	合 計	1,199						5,000
前年差	調味料・加工食品	18						121
	健康機能	△ 3						25
	タマゴ	1						7
	サラダ・惣菜	30						23
	共通	0						△ 5
	物流システム	△ 3						△ 35
	合 計	42						136

※12.11期通期は、2012年1月12日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

（2）営業利益のまとめ

（億円）

営業利益	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
10.11期	調味料・加工食品	31	57	88	41	129	37	166
	健康機能	3	3	6	4	10	4	14
	タマゴ	11	11	22	11	33	6	39
	サラダ・惣菜	2	4	6	5	11	5	16
	共通	4	1	5	2	7	△ 2	5
	物流システム	6	9	15	9	24	4	28
	調整額（全社費用・消去）	△ 11	△ 13	△ 24	△ 12	△ 36	△ 10	△ 46
	合 計	44	74	118	61	179	42	221
11.11期	調味料・加工食品	34	38	72	40	112	32	144
	健康機能	2	7	9	2	11	4	15
	タマゴ	7	6	13	13	26	12	38
	サラダ・惣菜	2	5	7	9	16	6	22
	共通	3	1	4	1	5	2	7
	物流システム	4	10	14	10	24	6	30
	調整額（全社費用・消去）	△ 11	△ 13	△ 24	△ 13	△ 37	△ 11	△ 48
	合 計	41	53	94	64	158	50	208

12.11期	調味料・加工食品	31						155
	健康機能	1						20
	タマゴ	15						46
	サラダ・惣菜	5						25
	共通	3						6
	物流システム	6						32
	調整額（全社費用・消去）	△ 12						△ 49
	合 計	50						235
前年差	調味料・加工食品	△ 3						11
	健康機能	△ 1						5
	タマゴ	8						8
	サラダ・惣菜	3						3
	共通	△ 1						△ 1
	物流システム	2						2
	調整額（全社費用・消去）	△ 1						△ 1
	合 計	8						27

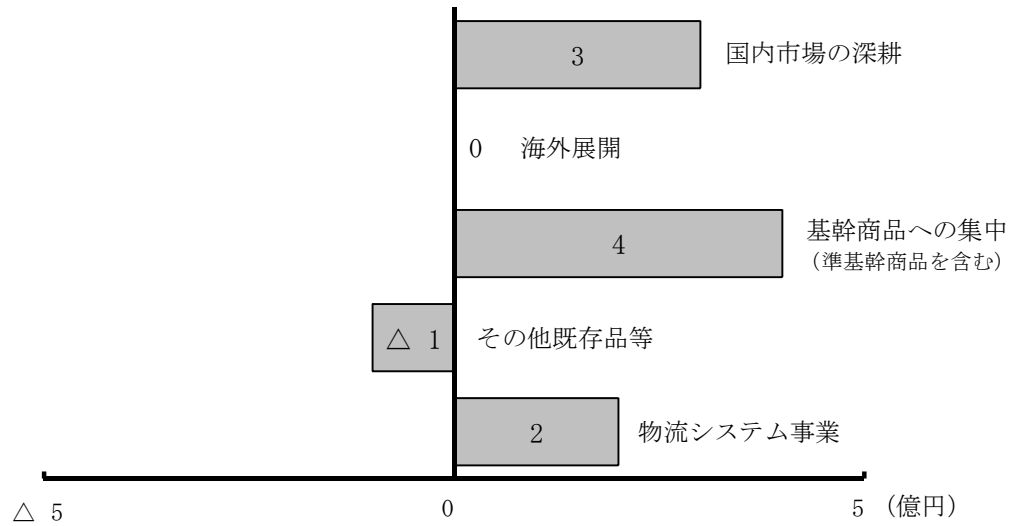
※12.11期通期は、2012年1月12日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

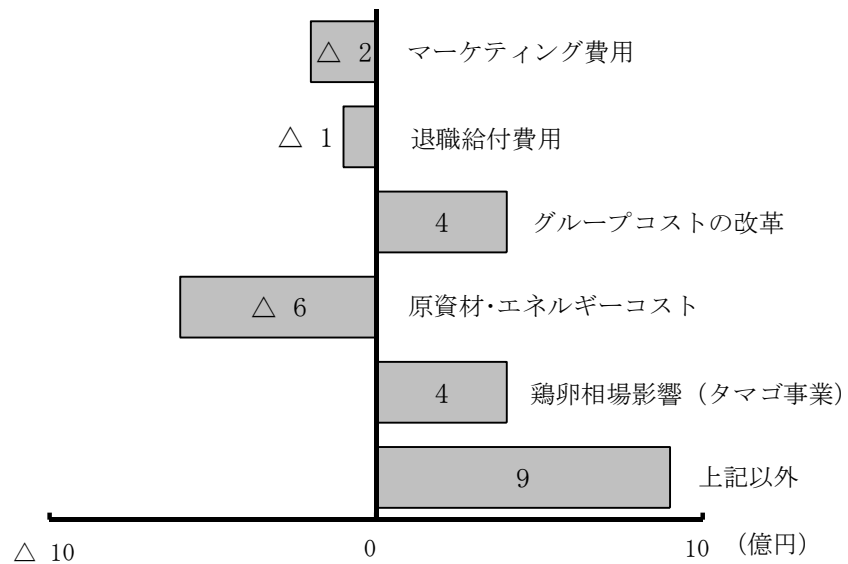
（3）12.11期第1四半期の営業利益増減状況

（億円）

	11.11期	12.11期	前年差
第1四半期	41	50	8



コストなどの影響



（４）主要な販売費・一般管理費実績

（億円）

	10.11期 第1四半期	11.11期 第1四半期 (A)	12.11期 第1四半期 (B)	前年差 (B)－(A)
販売促進費	42	44	45	1
広告宣伝費	19	19	20	1
物流費	60	65	68	3
労務費	55	58	60	2
研究開発費	6	7	7	0

（５）営業外・特別損益の実績と計画、および11.11期第1四半期対比での主な増減内容

（億円）

	11.11期 第1四半期	12.11期 第1四半期	増減内容（第1四半期対比）	11.11期	12.11期計画
営業外損益	3	3	社債発行費の増加 △ 1	11	1
特別損益	△ 3	4	受取保険金の増加 + 3 受取補償金の増加 + 1 資産除去債務計上損の減少 + 2	△ 43	△ 11

（６）貸借対照表の主な増減内容

（億円）

	11.11期	12.11期 第1四半期	増減	増減内容
（資産の部）				
流動資産	1,111	1,206	95	現預金の増加 113 営業債権の減少 △ 34
固定資産				
有形・無形固定資産	1,184	1,187	3	取得による増加 33 減価償却による減少 △ 32
投資その他の投資	463	460	△ 3	前払年金費用の減少 △ 3
（負債の部）				
	905	968	63	社債の増加 100 引当金の増加 27 未払費用の減少 △ 62
（純資産の部）				
	1,853	1,885	32	利益剰余金の増加 20 その他有価証券評価差額金の増加 7 少数株主持分の増加 4